

## IBC 岩手放送

活動名	ともの朗読会
実施期間	令和6年8月7日・令和6年11月14日
実施回数	会場 2回

### 【事業実施の成果・課題】

#### <みちのく・みどり学園>

去年に続き、夏休み中の子どもたちに楽しみを届けようとアナウンサー3人で施設にお邪魔した。毎年恒例になり、夏休みの楽しみの一つになっている様子。合間には一緒におやつを食べたり抱っこをするなど触れ合いも行った。

#### <どんぐりっこ>

矢巾町立煙山保育園の中14人と長26人、一般の親子(5組10人)が参加して行われた。去年は年中の幼児が途中飽きてしまう様子が見られたので、1冊本を減らして30分ちょうどで終了。みんな最後まで集中し、楽しんでくれた。

今年は赤ちゃん連れの参加者が5組いたので、低年齢児向けの作品も一冊やれば良かったな…と反省。

### 【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

#### <みちのく・みどり学園>

様々な理由で、家族と生活できない子どもたちがいる児童養護施設での読み聞かせでは、学校で先生が読み聞かせするのは違う、またプロの劇団などが発表を行うのとも違う、「家族による読み聞かせ」の雰囲気はどこかに取り入れたいと考えている。コロナ禍で控えていた触れ合いもたっぷり行い、距離も近く、会話をするように読み聞かせを行った。

最後には手作りのプレゼントももらい、人懐っこく抱っこをねだってくる子どもたちに、今年も本当に心が温まる時間をもらえた。

#### <どんぐりっこ>

職員の方が会場の設営や、保育園への案内など事前の準備にご尽力下さり、今年も多くの子どもたちに読み聞かせを聞いてもらうことができた。毎年恒例の行事として楽しみにしていると行って下さり、地域の保育園も招待が来る順番を待っていてくれるとのこと。

赤ちゃん連れの親子で参加したパパさんやママさんたちも、笑顔が見られ、育児のリフレッシュにつながれたら…と思った。

## 【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

### <みちのく・みどり学園>

子どもたちの表情に、普段見られないような集中や笑顔があり、絵本の力に改めて感動した。  
今後も継続的な支援活動として読み聞かせをお願いしたい。

### <どんぐりっこ 職員>

大盛況で朝の寒さを忘れ、ホットな時間を過ごさせていただき感謝しております。私も物語にグッと引き込まれて仕事を忘れてしまいました。プロの朗読を今年もありがとうございました！